

平成24年度 各務原市社会福祉協議会 事業報告

少子高齢化や非正規雇用問題など社会環境の変化に伴い、家庭や地域における連帯感の希薄化が進み、生活課題は一層多様化・深刻化しています。

地域福祉を推進する当会においては、地域福祉活動計画の中間年として、「ささえてささえられてみんなが主役のまちづくり」をテーマに地域住民や支部社協をはじめとする各種団体、ボランティアなどと幅広い協働・連携を図り、地域福祉活動の拠点づくりや仕組みづくりを行いました。

重点事業

①住民が主役となり展開していく支部社協活動の推進

地域福祉活動の中核を担う支部社協事業において、住民の声を集めることや地域のつながりを深める機会とするために「座談会で地域のつながりを考えてみよう事業」を全ての支部社協で開催しました。また、支部社協の活動拠点を地域支え合い体制づくり事業費補助金を活用し市内2ヶ所において整備をしました。

②声かけと見守り活動を中心にした近隣ケアグループ活動の啓発

隣近所での声かけと見守り活動の重要性を広める研修会や地域を見つめ直すきっかけづくりとして支部社協ごとに開催した「近隣ケアグループ研修会」により、活動の側面支援をしました。

③地域の身近なよりどころ、交流の場であるボランティアハウスの充実

地域の皆さんの協力を得て、新たに6ヶ所においてボランティアハウスが立ち上がり、市内76ヶ所において人と人がつながるハウスが設けられました。また、子育て中の親子を対象とした親子サロンに対しても活動助成を行ったほか、障がい者のサロンの立ち上げの支援を行いました。

④生きがいや楽しみを感じながら取り組めるボランティア活動の実践

支えあいサポーター塾では、地域で活躍されている方からの実践発表など、新しいカリキュラムを取り入れ、新たに35名が修了しました。ボランティアセンター事業としては、総合防災訓練時に小学生とボランティアの協力を得て、災害ボランティアセンター立ち上げ模擬訓練を行うなど災害時の対応について取り組みました。また、新たに「知的障がいを理解をする講座」を開催し、地域に良き理解者を増やすことに努めました。

⑤地域資源を活用した質の高い介護保険サービスの提供

介護保険事業においては、在宅生活を支えるために個々の状態に応じた適切なサービスを提供することができ、高い実績を得ることができました。また、地域包括支援センター事業においては、高齢者の心身の状況や生活状況を把握し、介護保険サービスにとどまらず適切な地域の保健・医療・福祉サービス機関や制度の利用につなげていく支援を行いました。

1. 法人運営事業

- 理事会・評議員会の開催<理事会 5月28日、11月2日、3月27日>
<評議員会 5月28日、3月27日>
- 会員の増強、自主財源の確保

一般・特別会員				賛助・団体会員		合計
年度	会員数	加入率	会費額	法人数 団体数	会費額	
24	36,727世帯	80.5%	18,622,100円	809法人 12団体	3,353,500円 100,000円	22,075,600円

- 寄付金

年度	件数	寄付金額
24	73件	4,993,119円

物品寄付	1件
金銭換算	600円

2. 企画広報事業

(1) 大会事業の開催と市民参加の促進

第46回社会福祉大会の開催

<1月22日 福祉関係者・市民1,272人参加 各務原市民会館>

第一部：式典 福祉関係功労者の表彰

第二部：講演 講師：三遊亭 好楽さん

演題：「人生、好んで楽しもう！」

(2) 普及啓発活動の推進

社協ピンバッチ・ストラップ・クリアファイルの作成と配布

社協キャラクター「サポート君」をイメージしたピンバッチとストラップを販売、
「サポート君」をデザインしたクリアファイルを作成・配布し、社会福祉協議会
活動のPRを行いました。

3. 地域福祉活動事業

(1) 支部社協活動の充実・強化

- 社協支部長・福祉推進員合同会議の開催<4月20日、2月12日>
- 自治会連合会長・社協支部長合同会議の開催<7月17日>
- 支部長会の開催

<6月14日 大阪府豊中市社会福祉協議会を視察>

●岐阜県社会福祉大会への参加

<10月30日 支部より28名参加 長良川国際会議場>

●支部社協活動財源の交付

- ・支部交付金 6,487,000円
- ・メニュー事業助成金 14,585,891円(歳末援護費含)

●メニュー事業の推進

メニュー名 支部名	①近隣ケアグループ研修	②ボランティアハウス	③福祉座談会	④支部アンケート調査	⑤機関紙の発行	⑥配食サービス	⑦料理で交流事業	⑧福祉の人づくり育成事業	⑨地域子育て支援・交流	⑩高齢者ふれあい交流	⑪歳末たすけあい特別事業
那加一	1	4	1		1			1		1	1
那加二東部	1	9	1		2				1	1	1
雄飛地区	1	2	1		2				2	1	1
那加三	2	7	1	1	2					1	1
尾崎		1	1		2			3	2	1	1
稲羽西	1	5	1		2			1	1		1
稲羽東	1	1	1	1	1				1	1	1
川島	1	3		1	1	1			2		1
鵜沼第一	1	5	1	1	2				1	1	1
鵜沼第二	1	4	2	1	1			3	1	1	1
陵南	1	3	3		2				1	1	1
鵜沼第三		3	3		2	7		6			1
緑苑	1	4	2		2			1	2	1	1
各務	1	3		1	2			3	2		1
八木山	2	2	4	2	2		5		2	1	1
蘇原北部	1	11	1		2			1	2	1	1
蘇原南部	1	9	1	1	2				1	1	1
合計	17	76	24	9	30	8	5	19	21	13	17

●地域福祉活動の拠点整備事業 2支部社協で実施
(鵜沼第二連合支部、緑苑連合支部)

●「座談会で地域のつながりを考えてみよう事業」の実施

地域住民の課題を集め、今後の支部事業に活かすことができるよう日本福祉大学講師の伊藤亜希子さんをファシリテーター役として招き、支部社協ごとに座談会を実施しました。自治会長、民生委員児童委員、近隣ケアグループ、シニアクラ

ブ、福祉委員など幅広い参加をいただき、「地域の良いところ」「支部事業に期待すること」などをテーマにKJ法を行い、出されたたくさんの意見をまとめ、地域の強みや課題を共有しました。

(2) ボランティアハウスの普及推進

地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちが閉じこもりにならないよう気軽に集まることのできる拠点であるボランティアハウスを4種類揃え、立ち上げの相談、調整等の支援に努めました。また、開設から10年を経過したハウスへの備品更新助成をするなど継続的な支援をしました。事業の普及啓発を目的としたポケットティッシュとうちわを作成し配布しました。

A型(毎週型)	B型(毎月型)	C型(民家開放常設型)	D型(立ち上げ支援型)
5	70	0	1

(開設数76か所・うち 新規6カ所)

- レクリエーション用品等の貸出
- 一芸等ボランティアの募集と派遣調整
- 事業普及啓発品の作成と配布

(ポケットティッシュ19,000個、うちわ5,000枚)

(3) 親子サロンへの活動支援

市内7ヶ所で開催されている「親子サロン」へ継続的な活動が行われるように助成を行いました。

(4) 在宅障がい者いきいき事業

- 障がい者わくわくウォーキングの開催

障がい者の社会参加と健康維持の促進を目的に開催し、家族や友達、ボランティアと楽しみながら犬山の城下町を散策しました。

<11月18日 32名参加>

(5) ファミリーサポートセンター事業

主に小学校3年生までの子どもを対象に、学校や保育施設までの送迎や一時預かりなど保護者にかわってサポート会員が行いました。

- ・登録 295名

(利用会員225名、サポート会員60名、利用会員兼サポート会員10名)

- ・コーディネート実績 553件

- ・会員交流会の開催 講師：浅井 彰子さん(元アナウンサー)

演題：「てってつないで ～絵本から学ぶ子育て～」

<3月13日 72名参加>

(6) 支えあいサポーター養成事業

●支えあいサポーター塾

自分自身を見つめ直すことやコミュニケーション技術を臨床心理士から学んだほか、日常生活圏域で福祉活動を積極的に行っている団体のリーダーから実践発表をお聞きしました。また、車いす体験や特別養護老人ホームなどでの施設実習を組み入れたカリキュラムによる講座を開催し、新たな人材の発掘や育成を行いました。

<9月5日、9月12日、9月15日、10月26日、12月13日、
1月29日、及び施設実習(10~11月) 延べ7日 35名修了>

●修了生へのフォローアップ

サポーター塾のカリキュラムの一部をフォローアップ講座として開催しました。

(7) 近隣ケアグループ活動の支援

近隣ケアグループ運営支援では活動費の助成を継続しながら、第1回市民福祉講座としての全体研修会や支部社協を単位とした研修会の開催など、声かけと見守り体制の仕組みづくりを推進しました。

(第1回市民福祉講座)

講師：池田 昌弘さん(NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長)

演題：「東日本大震災から学ぶ見守り活動の大切さ」

<6月3日全体研修会、約1,000名参加>

・近隣ケアグループ登録数 293グループ 活動員数 2,079人

(8) 市民福祉講座

●第2回市民福祉講座(支えあいサポーター塾と共催)

近隣ケアグループ活動の理解を深め、今後の参考にしてもらうための実践発表や「笑い」の効果を日常会話やコミュニケーションに活かすコツを学ぶ講演会を開催しました。

・実践発表 那加門前町3丁目ケアグループ

・記念講演 講師：ユーモアセラピスト 米津 さち子さん

演題：「笑って学ぼう！ユーモアコミュニケーション」

<10月26日 約440名参加>

●第3回市民福祉講座(支えあいサポーター塾と共催)

ボランティアハウス関係者が集まり、情報の共有と相互の活動について理解を深めるとともに、日頃の活動の疲れを少しでも癒し、今後の活動の参考と活力を養ってもらいました。

・市内障がい者福祉施設による発表とボランティアハウス「三井北町みどりの会」の実践発表

・記念講演 講師：僧侶・アナウンサー 川村 妙慶さん

演題：「聞き上手は伝え上手」

<12月13日 約450名参加>

(9) はつらつ介護者教室

地域包括支援センター社会福祉協議会のサポートを受け、介護者のリフレッシュを目的に、「なばなの里」へ日帰り旅行を実施。

<6月19日、11月22日 計27名参加>

(10) 在宅生活・地域福祉活動の支援

車いすやレクリエーション物品を貸出しました。

・車いす貸出件数 191件

(11) 関係機関との連携・協力

自治会連合会、民生委員児童委員協議会をはじめとする関係機関と連携・協力を図りました。

4. ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティアの育成・支援活動

●ボランティア養成講座の開催

養成講座名	期 間	受講者	修了者
手話奉仕員養成講座・入門編	8月23日～12月20日 毎週木曜日18回	26名	19名
手話奉仕員養成講座・基礎編	7月 5日～12月20日 毎週木曜日23回	17名	11名
要約筆記奉仕員養成講座（基礎）	11月10日～ 2月 2日 毎週土曜日11回	5名	4名
要約筆記奉仕員養成講座（応用）	2月 9日～ 3月23日 毎週土曜日 7回	5名	4名
音訳ボランティア養成講座	4月17日～ 7月24日 毎週火曜日15回	6名	6名
点訳ボランティア養成講座	4月16日～ 9月10日 毎週月曜日18回	4名	4名

●ボランティア登録

- ・団体登録 89団体 2,483名（うち24年度新規登録2団体）
- ・個人登録 83名（うち24年度新規登録20名）
- ・ボランティア情報配信登録 33名
- ・災害ボランティア登録 118名

●収集ボランティアサロン

古切手や使用済みテレホンカードなどを収集・整理する収集ボランティアサロンを開催しました。

<年間11回開催 延べ62名参加>

●ボランティア活動保険の加入

ボランティア中の事故やけがに備えるための保険に加入し、事故等の対応を行いま

した。

●知的障がいを理解する講座の開催 <参加者35名>

「知的障がい」について、親の立場としての思いや地域で支援を行う団体の実践発表、チームキャラバン各務原の協力を得て、知的障がい者の気持ちを学ぶ体験をしました。また、おやつ作りを通してより近くで接していただく中で理解を深めたほか、このおやつ作りがきっかけとなった、障がい者サロンへの支援も行いました。

●災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成

総合防災訓練において、ボランティアの協力のもと災害ボランティアセンター立ち上げの模擬訓練を行った他、マニュアル作成を行いました。

5. 福祉移送事業

(1) 福祉有償運送事業

国土交通省陸運局許可事業で、公共交通機関の利用が困難な障がい者、要介護高齢者等の外出支援のため、福祉車両による移送サービスを行いました。

- ・利用者登録 40名
- ・運転者登録 16名
- ・車両台数 4台 (小型車3、特定大型車1台)
- ・利用実績 利用件数 1,281件 走行距離 6,335km
- ・利用料収入 717,610円
- ・運転者講習会への参加 <2月25日 4名参加>

6. 共同募金配分事業

(1) 福祉教育の推進

次代を担う子供たちが、様々な体験活動を通じて福祉への関心を持ち、理解を深めることができるように福祉推進校に指定するとともに、学校からの要請に応え福祉体験講座の講師やボランティアを派遣しました。

●福祉推進校の指定

福祉推進校……小学校17校・中学校8校・高校3校・各務原養護学校
計29校

(2) 大会事業の開催と市民参加の促進

●各務原市福祉フェスティバル2012の運営協力・支援

<9月9日 各務原文化ホール・中央ライフデザインセンター>

(3) 母子父子福祉事業への支援

●ひとり親家庭等児童中学卒業記念品贈呈事業 <137名>

- 新入学児童お祝い会事業 <78名>
- 母子寡婦福祉会員ふれあい旅行事業 <281名>

(4) お達者でクッキングの開催

食生活改善協議会のボランティアの協力により一人暮らし高齢者や高齢者夫婦を対象に年2回開催しました。

<6月13日 17名参加、11月21日 13名参加>

(5) 社協かかみがはらの発行やウェブサイトの運営

社会福祉協議会の事業や講座の案内、ボランティア募集など福祉の情報の提供を行いました。<年4回発行5月15日号、7月15日号、10月15日号、2月1日号>また、ウェブサイトの運営の他、事業の紹介やボランティア募集等を随時ブログで紹介し、社協活動のPRの他、配信登録者へメール配信するなど情報発信に努めました。

(6) 共同募金運動への協力

- 共同募金運動（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）の展開及びPR

年度	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金	募金額合計	歳末たすけあい配分実績
24	18,747,077円	2,246,563円	20,993,640円	2,246,563円

- 歳末たすけあい募金配分事業（配分実績の内訳）

配分先	対象者数	配分金額
障がい者通所施設	22施設 469名	590,421円
支部社協活動（歳末たすけあい特別事業）	17支部 2,768名	1,656,142円
合計	3,237名	2,246,563円

7. 日常生活自立支援事業

(1) 岐阜地区福祉サービス利用支援センター（日常生活自立支援事業）

判断能力が低下し日常生活に不安のある人が、住み慣れた地域で安心した生活ができるように、「福祉サービス利用援助」「日常的金銭管理」「書類等預かり」のサービスを契約に基づき行いました。

- 基幹的社協として各務原市・羽島市・笠松町・岐南町（2市2町）を管轄しました。
 - ・生活支援員13名
 - ・継続契約件数23件（各務原市15件 笠松町0件 岐南町5件 羽島市3件）
 - ・24年度新規契約件数12件（各務原市9件、岐南町1件、羽島市2件）
 - ・生活支援員研修会の開催 <7月19日 17名参加>
 - ・タオルの作成・配布（共同募金配分）

民生委員児童委員、管轄内の社協、市内の地域包括支援センターや施設、病院等に配布しPRに活用しました。

8. 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付・償還業務の受託運営

低所得者世帯や離職者など経済的支援を必要とする世帯に自立を促し、安定した生活を営むため生活支援費や福祉資金などの資金を貸し付け、必要な助言・指導をしました。

- ・平成24年度新規貸付件数<68件>

資金の種類	新規貸付件数
総合支援資金	8件
緊急小口資金	49件
福祉費	11件

- ・貸付に関する相談 <延べ608件>

9. 高額療養費貸付事業

(1) 高額療養費貸付

- ・貸付件数 301件
- ・貸付者数 82人

10. 高齢者生きがいセンター川島園事業

(1) 高齢者生きがいセンター川島園デイサービス事業

高齢者の閉じこもり予防と自立支援のため、川島松倉町にある川島園デイサービス事業を受託運営しました。

- ・開設日数 <132日>
- ・利用者数 <延べ 773人>

11. 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター事業の運営

地域の高齢者が安心して暮らせるように、看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが連携して介護予防や総合相談、権利擁護などを重点に下記の事業を行いました。

① 共通の支援基盤の構築

- 高齢者包括ケア会議の運営

<6月20日、10月17日、2月14日 計3回>

- 地域包括支援センター連絡会<毎月第2水曜日 12回>

- 「気づこう地域支援のワ」全体研修会<8月28日 約131名参加>
講師：(株)日本スウェーデン福祉研究所 木本 明恵さん
演題：「認知症になっても安心して暮らせる環境づくり
～タクティールケアについて～」

- 支部社協と連携 <7回>
(那加二東部支部・雄飛地区支部・那加三支部・蘇原南部支部)

- 生涯学習まちづくり出前講座 <102件>

(1) 認知予防に関すること	32件
(2) 転倒予防に関すること	31件
(3) 口腔ケアに関すること	12件
(4) 健康管理・栄養に関すること	2件
(5) 地域包括支援センターの説明・その他	21件
(6) 認知症サポーター養成研修	4件

- ボランティアハウス、シニアクラブ、支部社協での健康指導 <122回>

②総合相談支援・権利擁護

- 高齢者の実態把握 <35件>
- 総合相談支援 <2,507件>
 - ・受付別内訳
(電話1,080件、来所247件、訪問1,086件、その他94件)
 - ・内容別件数(重複あり)

(1) 介護保険制度の利用	1,172件
(2) 福祉サービスの利用	605件
(3) インフォーマルサービスの利用	101件
(4) 医療・保健サービスの利用	190件
(5) 住宅改修に関する相談	227件
(6) 福祉用具に関する相談	203件
(7) 介護方法に関する相談	62件
(8) 虐待に関する相談	42件
(9) 権利擁護に関する相談	46件
(10) 健康体操や支援センターのPRなど	357件

- 介護よろず出張相談所の開設 <9月14日、11月12日>
 - ・ピアゴ各務原店にて、出張相談所を開設した。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 <212件>

(1) 支援困難事例等への助言対応	47件
-------------------	-----

(2)	サービス担当者会議等への協力	67件
(3)	ケアマネジャー資質向上のための研修	11件
(4)	介護支援専門員に対する情報支援等	62件
(5)	主治医との連携	12件
(6)	地域ケア会議（生活圏域）	13件

④介護予防ケアマネジメント

- 介護予防プランの作成件数 2,190件
- 介護予防事業及び在宅介護支援事業

(1)	転倒骨折予防事業	30件
(2)	アクティビティ・認知症予防介護教室	23件
(3)	住宅改修プラン作成	11件
(4)	食の自立支援事業アセスメント	64件
(5)	介護予防プラン作成（二次予防プラン）	38件
(6)	地域包括ネットワーク事業（つながり交流会）	6件
(7)	基本チェックリスト未回収者把握事業	179件

12. 居宅介護支援事業

要介護認定の高齢者等が安心して在宅で生活できるよう、本人や家族と相談して適切な居宅介護サービス計画を作成しました。

(1) ケアプラン作成件数 2,153件

介護度	介護度別件数	介護度別比率	月平均件数
要介護1	702	32.6%	59
要介護2	754	35.0%	63
要介護3	366	17.0%	31
要介護4	208	9.7%	17
要介護5	123	5.7%	10
計	2,153	100.0%	180

(2) 介護認定調査 342件

13. ホームヘルプ事業

要介護高齢者や障がい児者の在宅生活を支援するホームヘルパーやガイドヘルパーの派遣を行いました。また、制度外サービスとして『まごころサービス』を展開しました。

(1) 要介護認定者へのサービス提供実績

- ・利用者数 <延べ1,073名>
- ・月平均利用者数 <89.4名>
- ・サービス形態別の実績

内 訳	回 数	延べ時間
身体介護	3, 7 8 4	2, 8 0 4
身体生活	3, 2 1 6	4, 4 3 0
生活援助	4, 5 9 0	4, 5 0 8
合 計	1 1, 5 9 0	1 1, 7 4 2

(2) 要支援認定者へのサービス提供実績

- ・利用者数 <延べ748名> ・月平均利用者数 <62.3名>

内 訳	利用者数	利用頻度
予防Ⅰ	5 0 9	週1回程度
予防Ⅱ	1 8 8	週2回程度
予防Ⅲ	5 1	週2回を超えるもの
合 計	7 4 8	

(3) 障がい児者へのサービス提供実績

- ・利用者数 <延べ690名> ・月平均利用者数 <57.5名>

内 訳	利用者数	利用回数
身体障がい	1 8 9	2, 1 4 8
知的障がい	1 4 5	1, 2 7 6
精神障がい	1 6 7	1, 8 2 1
障がい児	7	5 8
同行援護	8 8	4 5 0
移動支援（障がい者）	4 3	2 4 1
移動支援（障がい児）	5 1	1 8 1

(4) 高齢者生活援助活動員派遣事業のサービス提供実績

- ・利用者数<延べ240名> ・月平均利用者数<20名>
 ・利用時間<延べ308時間>

(5) まごころサービス提供実績

介護保険では行うことができない制度外サービスとして提供しました。

- ・利用者数 <延べ196名>

外出支援	5 6 名	通院支援	1 1 名	薬とり	4 名
ごみ捨て	2 4 名	見守り	9 7 名	大掃除	3 名
草取り	1 名				

14. 訪問入浴介護事業

自宅の浴槽を使つての入浴が困難な要介護高齢者や障がいのある人等を対象に特殊浴槽を

用いた居宅での入浴サービスを提供しました。

(1) 介護保険の訪問入浴実績

- ・利用者数 <延べ121名>
- ・利用回数 <延べ679回>
うち、部分浴実績3回

(2) 障害者自立支援法による実績

- ・利用者数 <延べ60名>
- ・利用回数 <延べ378回>

15. 老人デイサービス事業

須衛稲田にある各務原市福祉の里内のデイサービスセンターで、要介護認定者や障がいのある人等を対象に、健康チェック、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを提供しました。

(1) 介護度別利用実績（併設通所型）

- ・実施日数 <309日>
- ・1日平均利用者数 <17.5名>

介護度	2～3時間	5～7時間	合計
要介護1	1回	1,211回	1,212回
要介護2	0回	1,340回	1,340回
要介護3	0回	1,050回	1,050回
要介護4	0回	721回	721回
要介護5	0回	152回	152回
合計	1回	4,474回	4,475回

予防通所介護1	649回
予防通所介護2	597回
合計	1,246回

(2) 身体障がい者在宅福祉サービスによる実績

- ・利用者数 <1名 64回>

(3) 秋祭の開催

日頃の感謝の意味を込めて、利用者のご家族を招待して秋祭を開催しました。地域の民生委員児童委員やケアマネジャーにもご参加いただき、一緒になって和太鼓の演奏や綿あめ作りなどを楽しみました。

<9月29日 84名参加>